

産業高ビジネス1.4倍

公立高校推薦入試 出願数が確定

丹波地域6高校を含む
県内公立高校の2022
年度推薦入試・特色選抜
域の高校では、篠山産業

丹波地域公立高校推薦入試出願状況

学校名	学科	定員	出願者数	倍率	昨年倍率
氷上	生産ビジネス	20	19	0.95	0.75
	食品ビジネス	20	25	1.25	1.05
	生活ビジネス	20	21	1.05	1.15
篠山東雲	地域農業	20	15	0.75	0.45
篠山産業	農と食	20	22	1.1	0.9
	機械工学	20	20	1	1
	電気建設工学	20	22	1.1	0.8
	総合ビジネス	20	28	1.4	1.2
柏原	知の探究	40	41	1.03	1.13
篠山鳳鳴	総合科学	40	37	0.93	0.78
氷上西	普通	30	32	1.07	1.03

※昨年倍率は、出願終了時の確定倍率

入試の出願数が7日、確
定した。表参照。丹波地
域の高校では、篠山産業
総合ビジネス科が1.4
倍で最も倍率が高く、篠
山東雲地域農業科が0.
75倍で最も倍率が低かつ
た。
篠山東雲は昨年度、定
員20に対して9人(0.
45倍)だったが、今年度
は15人に、篠山鳳鳴も昨
年度、定員40に対して31
人(0.77倍)だったが、
37人まで増えた。
丹波篠山市が地元3高
校をPRするポスターを
制作するなど、市内高校
への進学率向上に取り組
んでおり、篠山鳳鳴と篠
山東雲は「市の宣伝効果

が大きい」とみる。
篠山東雲は「市の活動
により、市内3高校の一
つとして周知されてきて
いる」とし、篠山鳳鳴は
市のPR活動に加え、
「インスタグラムでの広
報や、地域探究活動など
学校の取り組みが少しず
つ評価されているので
は」とした。
丹波市の高校は氷上の
生産ビジネス科で定員を
1人下回った以外は、定

員を上回った。
試験は16日、合格発表
は21日。

丹波新聞
2022年2月10日